



HELLO, NEW CITY.

～ 新しいまちの暮らし
スーパースマートシティ うつのみや 始動 ～

次第

第47回 宇都宮市環境審議会

- 1 開会
- 2 議事
 - ・ 「宇都宮の環境（環境状況報告書 令和5年度版）」について
 - 資料1, 別紙1, 別冊1, 別冊2, 参考資料1
- 3 その他
 - ・ 脱炭素化の推進に係る令和5年度の実施状況と令和6年度の実施方針等について
 - ・ 事務連絡
- 4 閉会

令和6年3月27日（水） 午前10時30分～11時30分
宇都宮市役所14階 14A会議室

環境部 環境創造課

宇都宮市環境審議会委員名簿

役職等	氏名
宇都宮市議会議員	石川 京樹
〃	手塚 泉
〃	岩井 潤子
〃	高橋 英樹
作新学院大学女子短期大学部 講師	森嶋 佳織
宇都宮大学 教授	横尾 昇剛
宇都宮共和大学 准教授	北浦 さおり
帝京大学理工学部 教授	加藤 彰
栃木県地球温暖化防止活動推進センター センター長	新井 有明
宇都宮市医師会 理事	稲葉 全郎

役職等	氏名
宇都宮農業協同組合 代表理事専務	半田 光隆
宇都宮商工会議所 議員	篠崎 務
宇都宮青年会議所 副理事長	鈴木 大介
うつのみや環境行動フォーラム 理事	増渕 弘子
宇都宮市青少年育成市民会議 副会長	小林 紀夫
宇都宮市女性団体連絡協議会 副会長	小金澤 頼子
宇都宮市自治会連合会 副会長	大森 幹夫
宇都宮地方気象台 次長	鈴木 紀行
公募委員	稲見 正雄
〃	西口 璃空



HELLO, NEW CITY.

～ 新しいまちの暮らし
スーパースマートシティ うつのみや 始動 ～

資料 1

「宇都宮の環境（環境状況報告書 令和5年度版）」 について

- 趣旨 「宇都宮市環境基本計画」に掲げる取組について、令和4年度の進捗状況等を「宇都宮の環境（環境状況報告書）」としてとりまとめたことから、その内容について審議するもの
- 目次
1. 「宇都宮の環境（環境状況報告書）」について
 - (1) 「宇都宮の環境（環境状況報告書）」の概要
 - (2) 評価方法について
 - (3) 評価結果について
 2. 今後の取組等

1. 「宇都宮の環境（環境状況報告書）」について

(1) 「宇都宮の環境（環境状況報告書）」の概要

宇都宮市環境基本条例に基づき、宇都宮市環境基本計画に掲げる計画の基本理念や目指す環境都市像の実現に向けた取組の実施状況、指標の進捗状況等について点検を行い、毎年度の状況を報告書として取りまとめ、公表するもの

【参考】宇都宮市環境基本条例（抄）

第19条 市長は、毎年度、環境の状況並びに環境の保全及び創造に関する施策の実施状況を明らかにした報告書を作成し、公表する。

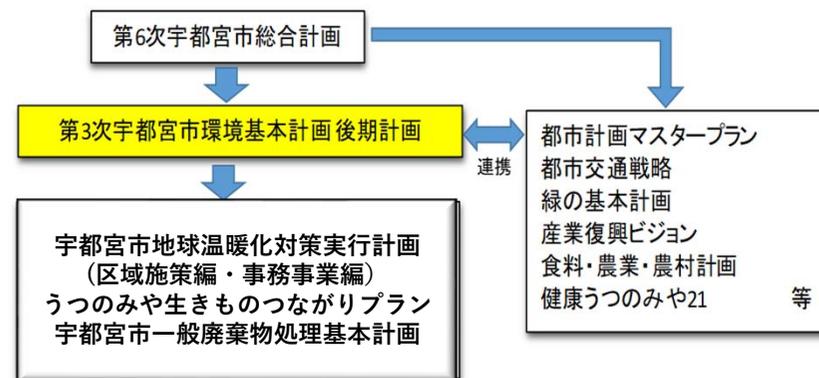
【環境基本計画の概要】

位置付け

- ・「第6次宇都宮市総合計画」の基本施策
「環境への負荷を低減する」における個別計画
- ・「宇都宮市地球温暖化対策実行計画」等の上位計画
- ・SDGsの達成に貢献するもの

計画期間

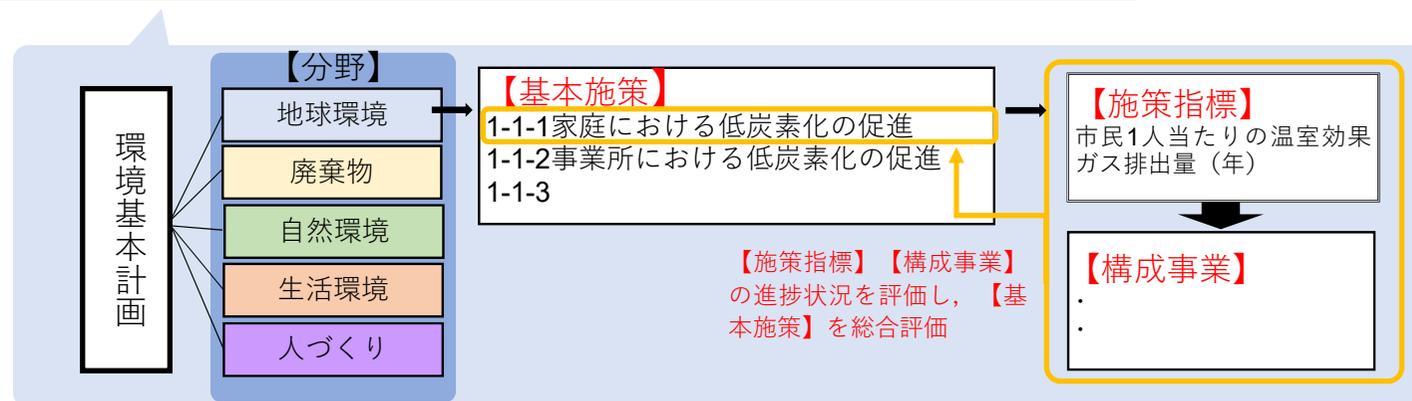
令和3年度（2021年度）から
令和7年度（2025年度）まで



1. 「宇都宮の環境（環境状況報告書）」について

(2) 評価方法について

- 第3次宇都宮市環境基本計画（後期計画）の令和4年度における進捗状況について評価する
- 5つの分野（地球環境，廃棄物，自然環境，生活環境，人づくり）において，基本施策ごとに設定している施策指標及び構成事業について評価し，その評価に基づき，基本施策の総合評価を行う

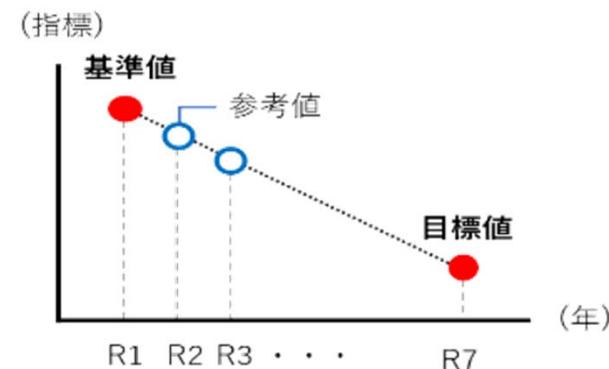


ア 施策指標

各年度の施策指標の進捗状況の評価については，評価対象年度の実績値と参考値※を比較し，その達成度に応じて「A」「B」「C」または，「評価不能」で評価する。

評価	A	B	C	評価不能
達成度 (評価基準)	100%以上	70%以上 100%未満	70%未満	主としてコロナの影響により，進捗状況の評価することが困難な事業

※ 参考値…「基準値」と「目標値」を直線で結んだ各年度の値



1. 「宇都宮の環境（環境状況報告書）」について

イ 構成事業

事業の進捗により評価する。評価の基準は、各課の事務概要のスケジュール等に照らし、「計画以上」「計画どおり」「計画より遅れ」または、「コロナの影響による変更」で評価する。

ウ 基本施策の総合評価

各基本施策の施策指標及び構成事業の評価に基づき、「順調」「概ね順調」「やや遅れ」で評価する。

【基本施策の総合評価方法】

項目 \ 評価	A	B	C	評価不能
① 施策指標	100%以上	70%以上 100%未満	70%未満	主としてコロナの影響により、進捗状況を評価することが困難な事業
② 構成事業	「計画以上」が 2以上	「計画どおり」が 4以上	「計画より遅れ」が 2以上	「コロナの影響による変更」の場合は 事業数に含めない
(構成事業が3 つ以下の場合)	「計画以上」が 1以上	「計画どおり」が 構成事業数と同数	「計画より遅れ」が 1以上	
総合評価 (①+②)	上記①②の合計により判定			
	順調	概ね順調	やや遅れ	
	評価不能がない かつ AまたはBが 1つ以上	Bが2つ または AとCが1つずつ または Aと評価不能	Cが2つ または BとCが1つずつ または BまたはCと評価不能	

1. 「宇都宮の環境（環境状況報告書）」について



(3) 評価結果について ※詳細は、別紙1「宇都宮の環境（令和5年度版 環境状況報告書）【概要版】」 【施策指標の評価】

ア 施策指標

- 「35指標」のうち「30指標」が「A評価」または「B評価」
⇒ 全体の約8割が「A評価」「B評価」
- 「3指標」がC評価
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、各種イベントや講座等が中止となり、「2指標」が「評価不能」

【「C評価」となった指標】

分野	評価			
	A	B	C	評価不能
地球環境	3	5	0	0
廃棄物	4	2	0	0
自然環境	3	3	1	0
生活環境	2	5	1	0
人づくり	0	3	1	2
合計	12	18	3	2

分野	施策指標		R1 基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7 目標値	要因分析・今後の方針
自然環境	市内農地における環境保全活動カバー率	目標値 (参考値)	39.3%	46.1%	52.9%	59.7%	66.4%	73.2%	80%	環境保全活動を行う新規組織が設立しなかったことや、活動面積の拡大が図られなかったことが要因として考えられる。今後は、カバー率の向上を図るため、既存組織や組織活動を行っていない地域に対し、個別説明会や地域からの相談等の機会を捉え、本市の現状や課題等を示しながら、活動の継続や活動面積の拡大、新規組織の立ち上げを促進していく。
		実績値	39.3%	38.1%	38.8%	38.6%				
生活環境	電気自動車補助件数（累計）	目標値 (参考値)	5件	88件	170件	253件	335件	418件	500件	軽EVの販売開始により、補助件数は前年度からは大きく増加しているものの、令和3年度までの補助件数が少なかったことにより、目標値を下回っている。今後は、脱炭素化の実現に向けて電気自動車への乗り換え等が必要であることや、電気自動車の利点等について周知啓発に取り組んでいく。
		実績値	5件	7件	14件	160件				
人づくり	もったいない運動の実践率	目標値 (参考値)	32%	36.7%	41.3%	46%	50.7%	55.3%	60%	実践率向上には継続した周知啓発が必要であり、デジタルサイネージを活用した動画放映や巡回展等を実施し、周知拡大を図ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントでの周知ができなかったことが要因と考えられる。今後は、イベントやSNS等を活用し、家庭や事業所等で取り組みやすいもったいない運動の取組事例の紹介等、周知啓発に取り組んでいく。
		実績値	32%	-	24.9%	28.7%				

1. 「宇都宮の環境（環境状況報告書）」について

イ 構成事業

- 「168事業」のうち「160事業」が「計画どおり」
- 「2事業」が「計画より遅れ」
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、各種イベントや講座等が中止となり、「6事業」が「コロナの影響による変更」

【構成事業の評価】

分野	評価			
	計画以上	計画通り	計画より遅れ	コロナによる遅れ
地球環境	-	39	1	-
廃棄物	-	28	-	-
自然環境	-	50	1	2
生活環境	-	18	-	-
人づくり	-	25	-	4
合計	0	160	2	6

【「計画より遅れ」となった事業】

分野	構成事業	要因分析・今後の方針
地球環境	地域新電力による再生可能エネルギーの地産地消の推進	令和4年2月「クリーンパーク茂原」の火災の影響により、発電電力の調達が停止し、市外から電力調達を行ったことで、再生可能エネルギーの地産地消が図られなかったことによるもの。 クリーンパーク茂原の復旧以降は、市有施設等に供給を再開しており、今後も、引き続き、バイオマス発電から電力調達をする市有施設やライトラインに供給し、再生可能エネルギーの地産地消を推進していく。
自然環境	うつのみや生きものつながり活性化事業の推進	マッチングによる保全活動が6回開催（のべ186人参加）されたが、支援を求める市民団体の登録はあるものの、それらへの人的・物的支援を希望する事業者からの応募はなかったため、本事業によりマッチングした活動団体は1組にとどまっている。 引き続き、事業の周知に努めるとともに、人員不足・活動費不足といった自然環境保全団体の課題に対応するため、市民団体が求める支援と事業者が提供できるリソースを把握し、双方の意向等を適切に調整することで効果的なマッチングへとつなげ、生物多様性保全活動の活性化を図る。

1. 「宇都宮の環境（環境状況報告書）」について

ウ 基本施策

- 「35施策」のうち「30施策」が「順調」「概ね順調」
⇒ 全体の約8割が「順調」「概ね順調」
- 「5施策」が「やや遅れ」
- 人づくり分野においては、多くの構成事業で新型コロナウイルス感染症の影響を受けたことで、「順調」となった基本施策なし

【基本施策の総合評価】

分野	評価		
	順調	概ね順調	やや遅れ
地球環境	4	4	0
廃棄物	4	2	0
自然環境	3	3	1
生活環境	2	5	1
人づくり	0	3	3
合計	13	17	5

【「やや遅れ」となった基本施策】

分野	基本施策	施策指標の評価	構成事業の評価	要因分析・今後の方針
自然環境	3-2-1 農地等の多面的機能の維持向上	C評価	B評価	各施策とも、構成事業は全て「計画通り」であるが、施策指標が「C評価」「評価不能」のため、施策の評価は「やや遅れ」となっている。引き続き、各事業を計画的に推進するほか、各施策指標の達成に向けて、取組を強化する必要がある。 ※「C評価」の理由は7ページ参照
生活環境	4-2-3 自動車排出ガス対策の充実	C評価	B評価	
人づくり	5-1-2 もったいない運動を取り入れたイベントの開催	評価不能	B評価	
	5-3-1 各主体による環境配慮行動の推進	C評価	B評価	
	5-3-2 多様な活動主体間の連携促進	評価不能	B評価	

2. 今後の取組等

(1) 今後の取組

引き続き、第3次宇都宮市環境基本計画（後期計画）に基づき、総合的・体系的に各種事業を推進していく。

地球環境分野	<u>カーボンニュートラルの実現に向けて</u> 、より一層、温室効果ガス排出削減の強化が求められるため、令和6年2月に改定した「 <u>地球温暖化対策実行計画</u> 」に基づき、削減目標の達成に向けて、 <u>各種事業を推進</u>
廃棄物分野	引き続き、「 <u>一般廃棄物処理基本計画</u> 」に基づき、 <u>ごみの発生抑制や資源化、適性な処理を推進</u>
自然環境分野	引き続き、「 <u>うつのみや生きものつながりプラン（宇都宮市生物多様性地域計画）</u> 」に基づいた生物多様性の保全を推進するとともに、令和6年2月に改定した「 <u>宇都宮市食料・農業・農村基本計画</u> 」に基づき、市内農地における環境保全活動を推進
生活環境分野	引き続き、法令に基づく工場や事業場への立入検査や指導等を推進するとともに、 <u>電気自動車に対する補助事業について、電気自動車の利点等について周知啓発に取り組む</u>
人づくり分野	これまでの対面形式によるイベント・講座等の実施のほか、 <u>オンラインやSNS等を活用した実施等、より効果的な方法等について検討し推進</u>

(2) 今後のスケジュール

令和6年 3月27日 第47回 宇都宮市環境審議会（本日）
3月下旬 市HP等で環境状況報告書を公開